

西塩子の回り舞台 第8回定期公演

令和7年10月25日(土)開催

手ぬぐい デザインコンペ



作品募集

締切 令和7年5月20日(火)



あなたのデザインが
西塩子の回り舞台の公式グッズになります!

西塩子の回り舞台とは

西塩子の回り舞台(茨城県有形民俗文化財指定)は、江戸時代後期の道具も残る、日本最古の組立式農村舞台です。1991年に大宮町(当時)が行った調査によって貴重な文化財であることが判明し、1997年、地元住民の努力により、半世紀ぶりの舞台復元にこぎつけました。舞台の組立ては、屋根材とする真竹300本余の伐り出しから始まり、丸太を柱等として舞台を立ち上げてゆくもので、完成には約1か月を要します。3年に一度程度の割合で、東日本大震災後の2019年までに、9回の組立てと地芝居公演を行って、毎回3千~5千人の観客を動員するなど、伝統文化を現代に活かした活動を展開していました。しかし舞台復活当時より70程であった地区の戸数は、ここ十数年の間に50戸ほどにまで減少、地元小学校も統合によって廃され少子高齢化が深刻化しています。コロナ禍で開催が一度見送られて今回6年ぶりの開催です。早くから西塩子地区のみでの保存・継承の困難は予想されており、積極的に、組立て、役者、衣裳・舞台道具作り、広報など多種多様なボランティアの募集を行ってきており、農業体験など他方面での交流に広がるなど、地域活性化や常陸大宮市の魅力発信に大きな役割を果たしています。



これまでの定期公演で作った手ぬぐいです

●ご参考に

西塩子の回り舞台公式ホームページ
<https://mawari-butai.jpn.org/>

詳しい応募要項は裏面です♪

